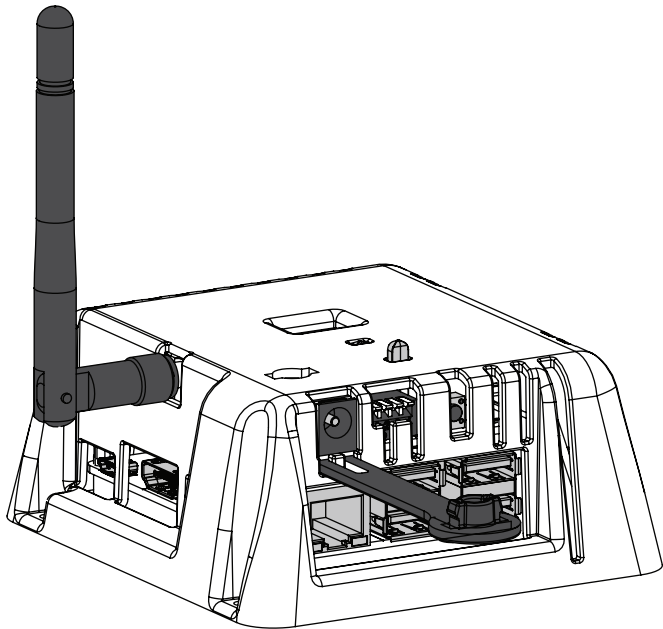
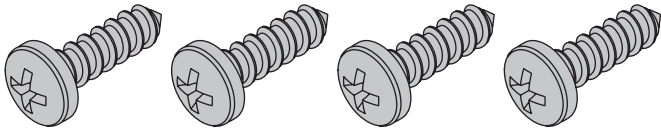
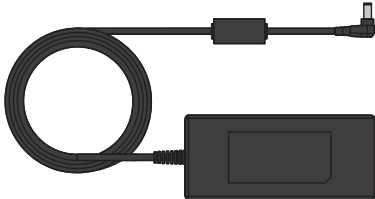
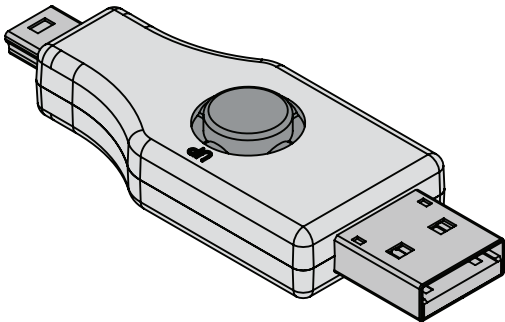
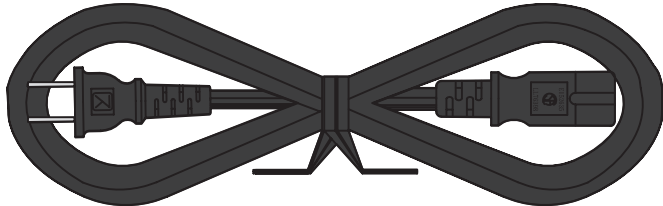
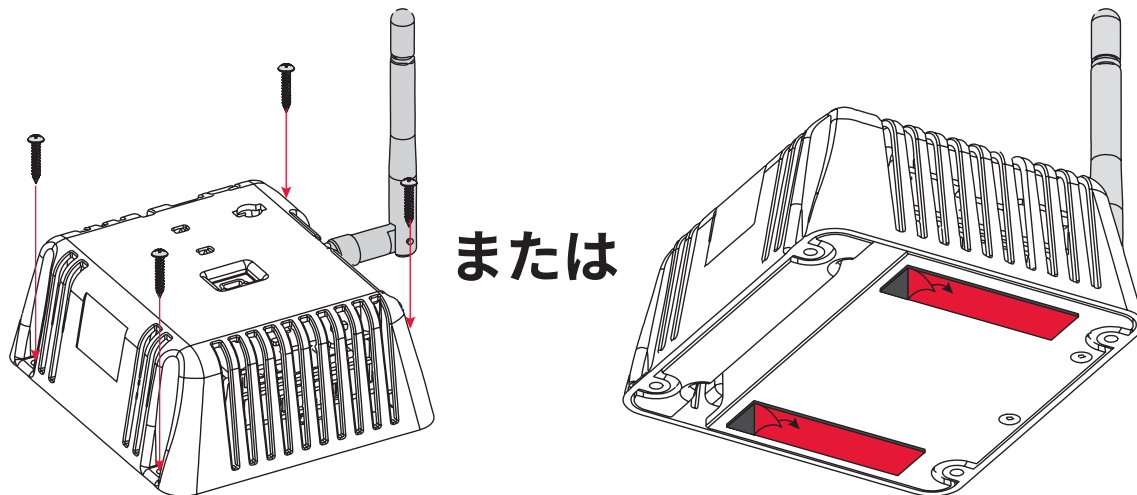


MTI Connect™ Hub	ネジ (4本)
	
	VHB (2枚)
	
	電源
	

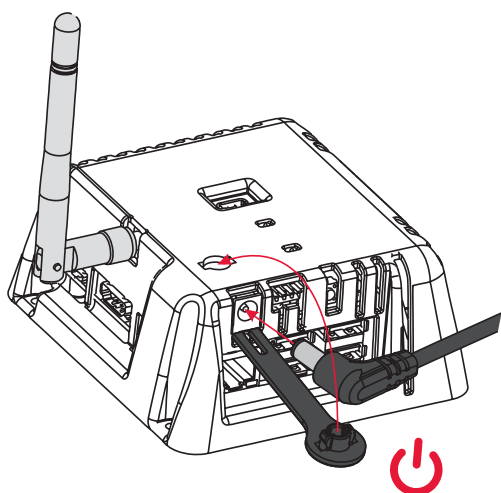
必須だが含まれていない部品

IntelliKey	RFIDカード (RFID対応デバイスに必要)
	
電源ケーブル (地域別)	
	

- 1** 注：有資格のサービス専門業者以外によるアンテナの改ざんや取り外し/交換を防ぐため、このデバイスでは専門業者による取り付けが必要です。



- 2** 電源を取り付けて、ハブの電源を入れます。電源を固定するため、コネクタを覆うようにしてゴム製のフラップをハブ上部の開口部に取り付けます。



アダプターのメインプラグは切断デバイスとして機能するため、コンセントの差込口を機器の近く、容易にアクセスできる場所に設置する必要があります。

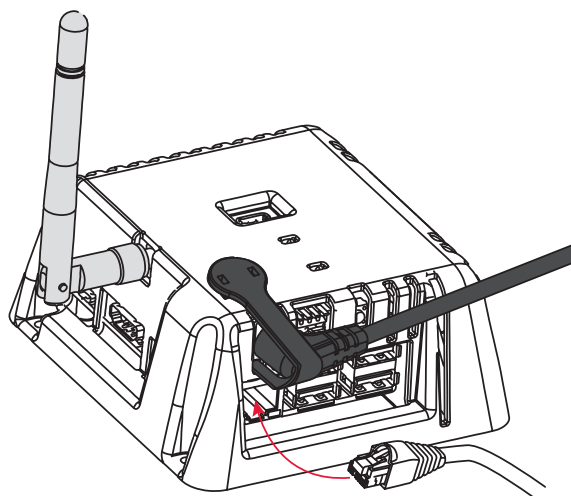
警告：アダプターは、出力5VDC 3AでIEC/EN/UL 62368-1認証を取得しているか、MTIが提供するものでなければなりません。その他の仕様のアダプターを使用すると、損傷の原因となる可能性があります。



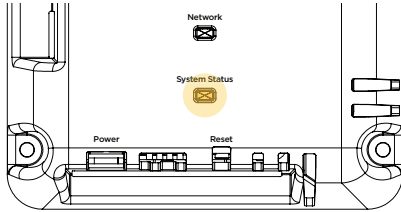
La prise principale de l'adaptateur agit comme un dispositif de déconnexion, la prise de courant doit être installée près de l'équipement et doit être facilement accessible.

Avertissement: L'adaptateur doit être certifié IEC/EN/UL 62368-1 avec une sortie 5 VCC 3A, ou fourni par MTI; d'autres spécifications peuvent causer des dommages.

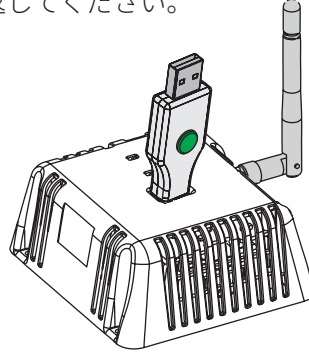
- 3** MTI Connectアプリケーションソフトウェアを使用する場合は、利用可能なイーサネットケーブルを使ってハブをインターネットに接続するか、Wi-Fi認証情報を使用して設定します。MTI Connectを使用しない場合は、Freedom Microのペアリングに進みます。



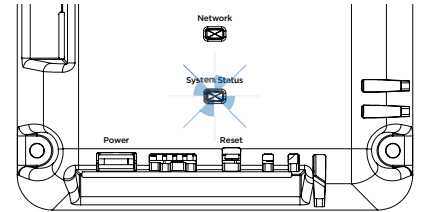
- 1** ハブとすべてのFreedom Micro ポジションの電源が入っていることを確認します。電源が入ると、ステータスランプが点灯します（LEDステータスインジケータについては、3ページをご覧ください）。



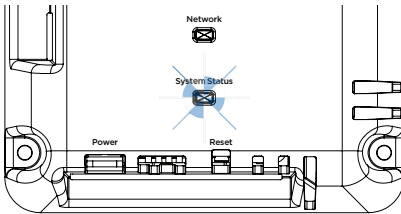
- 2** Connect IntelliKeyをハブ上部のUSBポートに差し込みます。IntelliKeyのLEDが緑色に点灯したら、IntelliKeyがシステムホワイトリストに追加されています。他のすべてのConnect IntelliKeyについても、取り外してこの手順を繰り返してください。



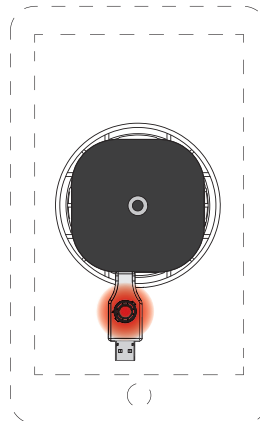
- 3** Connect IntelliKeyを差し込み、10秒間待ちます。10秒経過したら、ハブのステータスインジケータランプが青色で点滅し、ハブがネットワークペアリングモードになったことを示します。



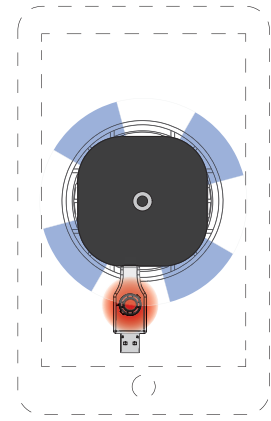
- 4** IntelliKeyを取り外します（ハブのLEDが青色で最大15分間点滅し続けます）。



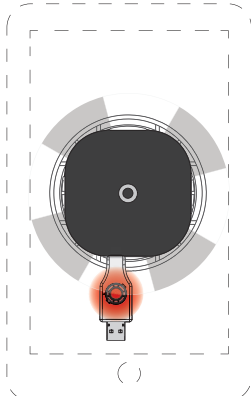
- 5** いずれかのConnect IntelliKeyを、黄色のLEDが点滅している各ポジションに持っていき、IntelliKeyを差し込んで10秒間待ちます（IntelliKeyのLEDが赤色で点灯します）。



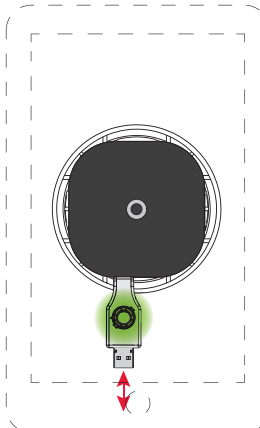
- 6** 10秒経過したら、ハブのネットワークに接続されるまで、パックのLEDが青色で点滅します。



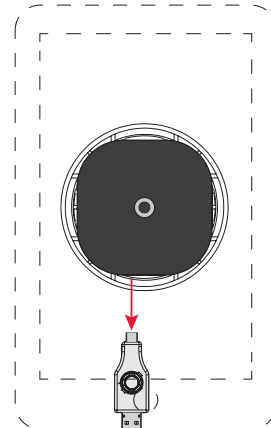
- 7** ネットワークに接続すると、パックのLEDが5秒おきに白色で2回連続で点滅します。IntelliKeyのLEDは、引き続き赤色のままです。



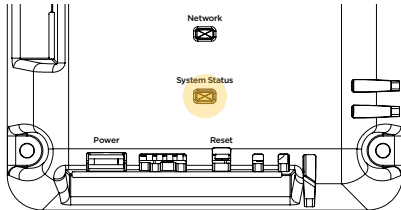
- 8** IntelliKeyを取り外して再度差し込みます。IntelliKeyのLEDが緑色で点灯したら、IntelliKeyがパックを制御できるようになります。



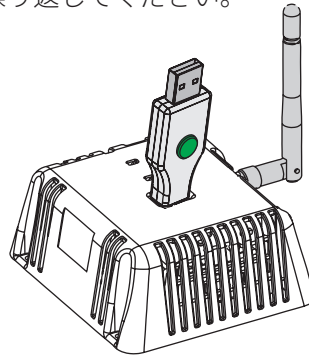
- 9** LEDが緑色に点灯した後にIntelliKeyを取り外すと、そのポジションへの商品設置が完了している場合は、そのポジションの保護が作動します。



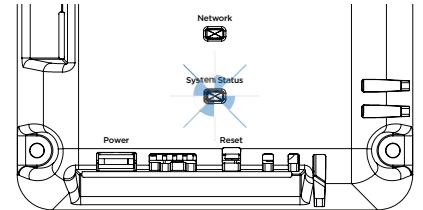
- 1** ハブとすべてのCX FlexまたはFreedom Micro IIのポジションの電源が入っていることを確認してください。電源が入ると、ステータスランプが点灯します（LEDステータスインジケータについては、3ページをご覧ください）。



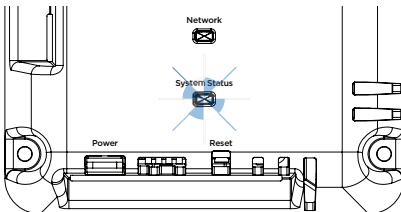
- 2** Connect IntelliKeyをハブ上部のUSBポートに差し込みます。IntelliKeyのLEDが緑色に点灯したら、IntelliKeyがシステムホワトリストに追加されています。他のすべてのConnect IntelliKeyについても、取り外してこの手順を繰り返してください。



- 3** Connect IntelliKeyを差し込み、10秒間待ちます。10秒経過したら、ハブのステータスインジケータランプが青色で点滅し、ハブがネットワークペアリングモードになったことを示します。



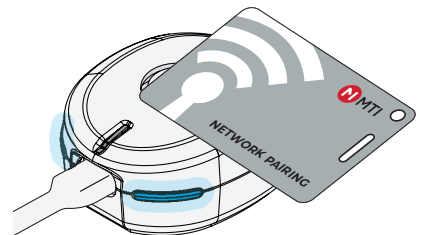
- 4** IntelliKeyを取り外します（ハブのLEDが青色で最大15分間点滅し続けます）。



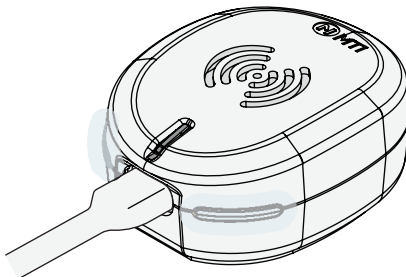
- 5** MTI Connectウェブポータルでユーザーキーを有効にします。この機能は、管理者以上の担当者のみが利用できます。



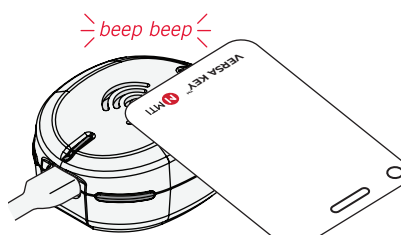
- 6** ペアリングカードをRFIDデバイスにタッチします。LEDインジケータは最大90秒間、青色で点滅します。



- 7** ネットワークに接続すると、LEDインジケータは、解除状態の場合は白色でゆっくり点滅し、作動状態の場合は白色で点灯します。

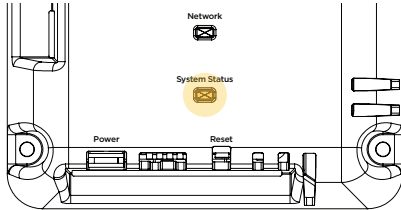


- 8** 有効にしたユーザーキーをデバイスにタッチします。2回の連続ビープ音は、そのキーでデバイスを制御できるようになったことを意味します。

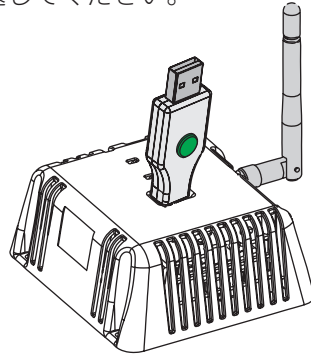


- 9**

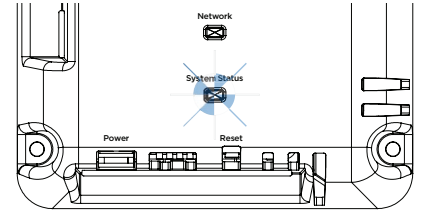
- 1** ハブとすべてのロックポジションの電源が入っていることを確認します。電源が入ると、ステータスランプが点灯します（LEDステータスインジケータについては、3ページをご覧ください）。



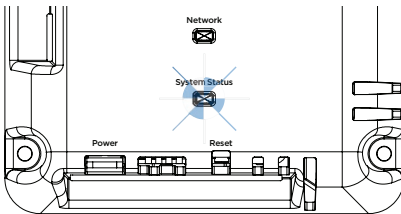
- 2** Connect IntelliKeyをハブ上部のUSBポートに差し込みます。IntelliKeyのLEDが緑色に点灯したら、IntelliKeyがシステムホワイトリストに追加されています。他のすべてのConnect IntelliKeyについても、取り外してこの手順を繰り返してください。



- 3** Connect IntelliKeyを差し込み、10秒間待ちます。10秒経過したら、ハブのステータスインジケータランプが青色で点滅し、ハブがネットワークペアリングモードになったことを示します。



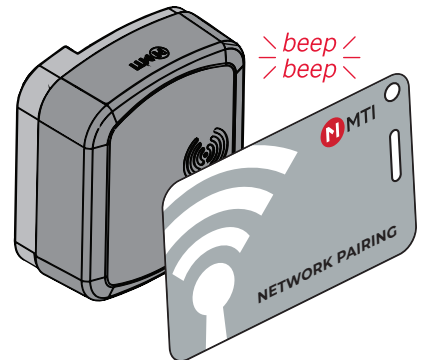
- 4** IntelliKeyを取り外します（ハブのLEDが青色で最大15分間点滅し続けます）。



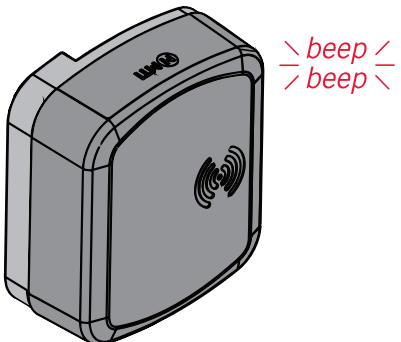
- 5** MTI Connectウェブポータルでユーザーキーを有効にします。この機能は、管理者以上の担当者のみが利用できます。



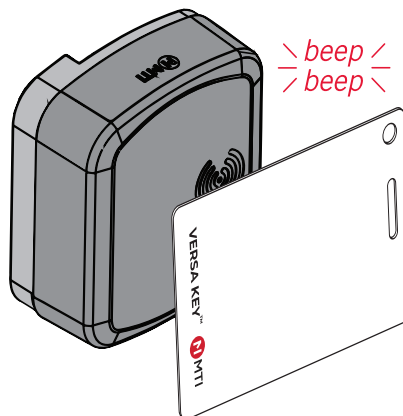
- 6** ペアリングカードをロックにタッチします。ロックからビープ音を鳴り始め、最大90秒間ゆっくりとビープ音が鳴ります。



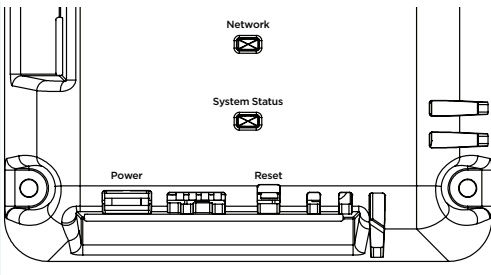
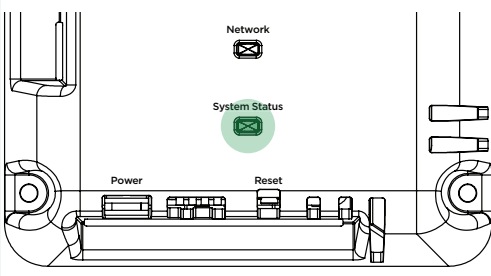
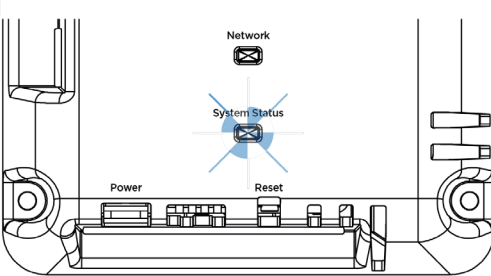
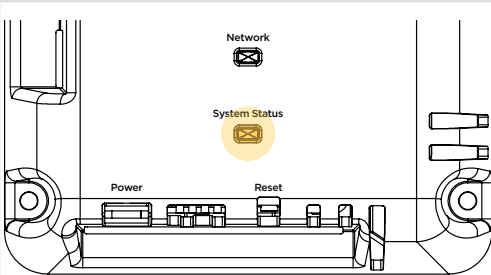
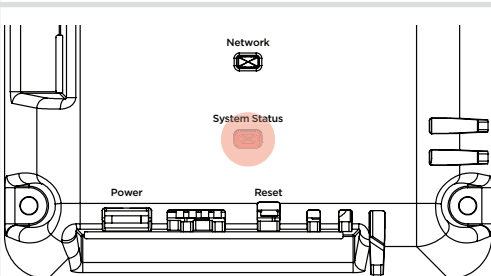
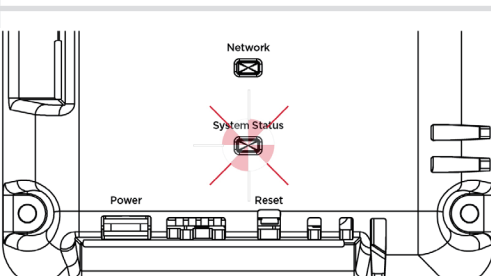
- 7** ネットワークに接続すると、ロックから2回の連続ビープ音が鳴り、ネットワークへの接続が完了したことが示されます。

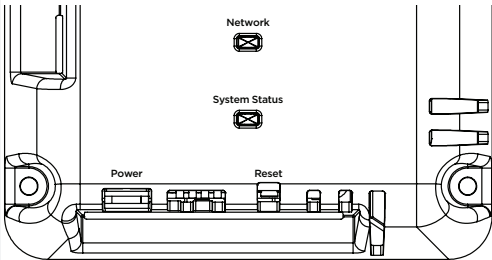
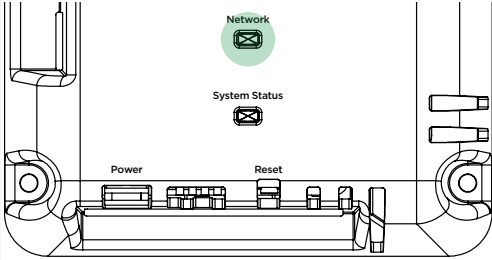
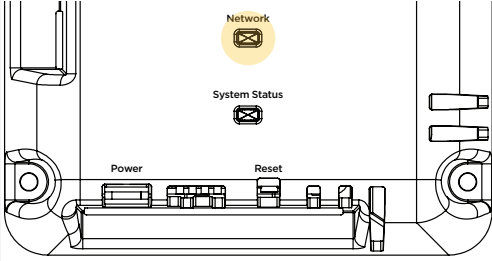
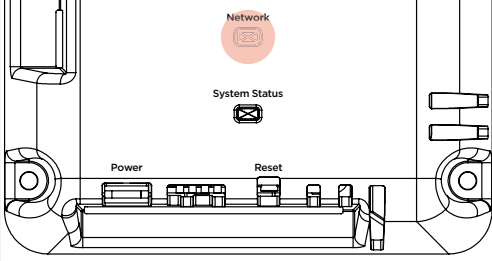
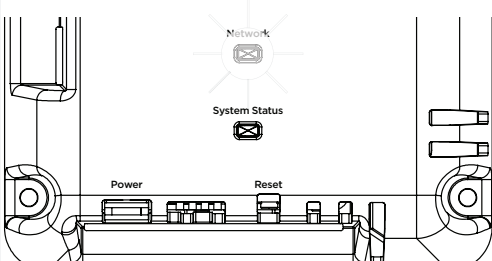


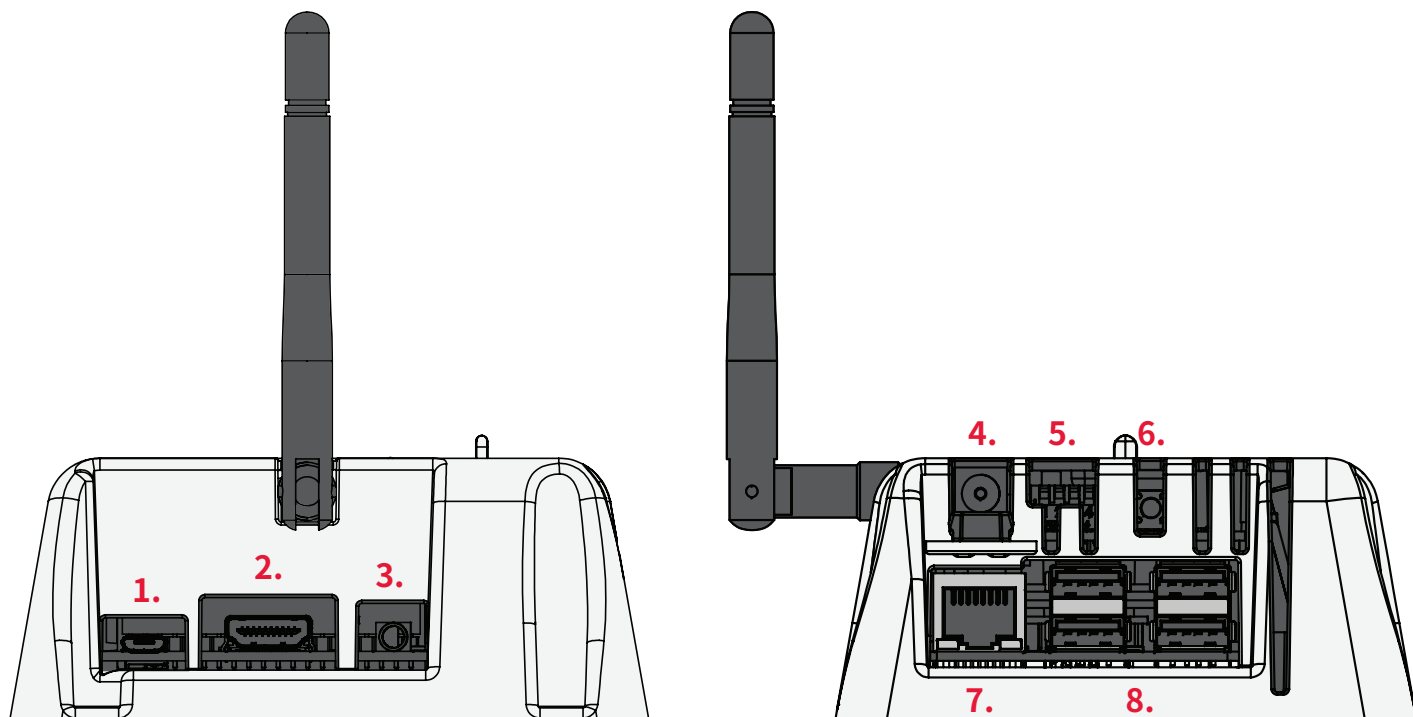
- 8** 有効にしたユーザーキーをデバイスにタッチします。2回の連続ビープ音は、キーがロックを制御できるようになったことを意味します。



- 9**

参考画像	システムステータス	状態
	ライトが点灯していない	ハブに電源が供給されておらず、バックアップバッテリーの残量もありません。ハブを電源に接続し直してください。
	ステータスLEDが緑色で点灯している	ハブは完全に機能しています。 ハブはMTI Connect Cloudと通信しています。 ハブはConnectネットワークを介してデバイスと通信しています。 MTI Connectアプリケーションを通常通り使用してください。
	ステータスLEDが青色で点滅している	ハブはペアリングモードです。 このガイドのネットワークペアリングに関するセクションを参照してください。
	ステータスLEDが黄色で点灯している	ハブはConnectネットワークを介してデバイスと通信していません。 MTIセキュリティデバイスをペアリングするか、ハブをデバイスに近づけてください。
	ステータスLEDが赤色で点灯している	ハブがMTI Connect Cloudと通信していません。 MTI Connectソフトウェアを使用しており、この状態が5分を超えて続く場合は、ハブの電源を入れ直すか、サポートにご連絡ください。
	ステータスLEDが赤色で点滅している	ハブはバッテリーバックアップモードです。 ハブを電源に再接続してください。

参考画像	システムステータス	状態
	ライトが点灯していない	ハブに電源が供給されていないか、内部エラーが発生しています。 電源に接続するか、電源を入れ直してください。
	ネットワークLEDが緑色で点灯している	ハブはインターネットに接続されています。 正常動作です。
	ネットワークLEDが黄色で点灯している	ハブはネットワークに接続されていますが、インターネットにアクセスできません。 MTI Connectソフトウェア機能が必要な場合は、インターネットに接続されているネットワークにハブを接続してください。
	ネットワークLEDが赤色で点灯している	ハブはどのIPネットワークにも接続されていません（IPアドレスがありません）。 MTI Connectソフトウェア機能が必要な場合は、インターネットに接続されているネットワークにハブを接続してください。
	ネットワークLEDが青色で点滅している	ハブはWi-Fi設定モードになっています。 Connect HubのWi-Fi設定ガイドを参照してください。



1. Micro USB補助電源ポート - 取り付けと保守に使用されます
2. HDMIポート - 取り付けと保守に使用
3. オーディオ/ビデオ3.5mmポート - 取り付けと保守に使用
4. 主電源ポート - 標準電源入力です。定格出力10ワット以上（15ワット以下）の5V電源を接続してください。
5. ディップスイッチ - 取り付け時に設定を行います。付録のディップスイッチ設定表を参照してください。
6. リセットボタン - ホワイトリストに登録されているIntelliKeyのリストをリセットするために使用します。
7. イーサネットポート - ネットワークまたはインターネットにアクセスするには、ルーターまたはブロードバンドモデムのイーサネット（RJ45）ケーブルを接続します。コネクタの横にある2つのランプは、接続状態とネットワークアクティビティを示します。



警告：「取り付けと保守に使用されます」と指定されているポートをエンドユーザーが使用してはなりません。取り付けおよび保守作業中は、MTI認定技術者のみがこれらのポートを使用できます。

Avertissement: les ports désignés comme «utilisés pour l'installation et la maintenance» ne doivent pas être accessibles aux utilisateurs finaux.

Seul le personnel technique certifié MTI peut utiliser ces ports pendant l'installation et la maintenance.

定格表示ラベルは筐体の底面にあります。

L'étiquette signalétique est située au bas du boîtier.

FCC ID : 2AA2X-16500361**モデル : Connect Hub****FCC適合宣言**

このデバイスはFCC規則の15項に準拠しています。

注意：コンプライアンス責任者から明確な承認を得ずに変更または修正を行った場合、本機器の使用権が無効になる可能性があります。

動作は次の2つの条件の対象となります。（1）このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはならない。（2）このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受ける干渉をすべて受け入れなければならない。

コンプライアンス責任者から明確な承認を得ずに行われた変更または修正について、被付与者はその責任を負わないものとします。このような修正を行った場合、本機器の使用権が無効になる可能性があります。

RF曝露規制に適合するための距離は20ミリメートルです。

注：このデバイスはテストの結果、クラスBデジタルデバイスの制限に適合しており、FCC規則第15項に準拠していることが確認されました。これらの制限は、住宅への設置によって生じる有害な干渉から適切に保護することを目的としています。この機器は無線周波数エネルギーを発生、使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし特定の設置環境において干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合（これは機器の電源をオン/オフすることで確認できます）、干渉を解消するため以下の1つまたは複数の方法を試してみることを推奨します。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変更する。
- 機器と受信機の距離を大きくする。
- 受信機が接続されているコンセントとは異なる階線のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

ISED認定番号 : 24439-16500361**モデル : Connect Hub****ISED適合宣言**

このデバイスは、カナダ・イノベーション・科学経済開発省が定めるライセンス免除のRSS規格に適合しています。動作は次の2つの条件の対象となります。（1）このデバイスは干渉を引き起こしてはならない。（2）このデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、干渉をすべて受け入れなければならない。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

Le présent appareil est conforme aux CNR Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

(1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

このデバイスは、RSS 102の2.5項の定型環境評価制限の適用除外およびRSS-102のRF被ばく規制への適合を満たしています。RF被ばくと適合に関するカナダの情報を入手できます。

Le dispositif rencontre l'exemption des limites courantes d'évaluation dans la section 2.5 de RSS 102 et la conformité à l'exposition de RSS-102 rf, utilisateurs peut obtenir l'information canadienne sur l'exposition et la conformité de rf.

この送信機を、他のアンテナまたは送信機と同一の場所に設置することや、連携して動作することはしないでください。この機器は、ラジエーターと人体との間に最低20センチメートルの距離を確保して設置および操作する必要があります。

Cet émetteur ne doit pas être Co-placé ou ne fonctionnant en même temps qu'aucune autre antenne ou émetteur. Cet équipement devrait être installé et actionné avec une distance minimum de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps.

テクニカルデータ

動作周波数:	2405 MHz~2480 MHz
動作温度:	0°C~40°C
最大出力:	2.4GHzで20dBm未満

補足安全情報

1. 屋内専用です。本装置を水に濡らさないでください。
2. 内部にはユーザーが交換できる部品はありません。修理は製造元または有資格のサービス担当者にご依頼ください。
3. メーカー指定の付属品のみを使用してください。
4. 過度の熱源にさらさないでください。

廃棄：電池を含むすべての電気・電子製品は、一般廃棄物とは別に、政府または地方自治体が指定する収集施設を通じて処分しなければなりません。



本製品には充電式電池が内蔵されています。電池を適切に保管、使用、廃棄することが重要です。以下のガイドラインを参照してください。

- i. 電池は適切に廃棄してください。電池を炉、オーブン、火の中に捨てたり、機械的に押しつぶしたり切断したりしないでください。電池が爆発する恐れがあります。
- ii. 上記よりも高温の環境で電池を保管すると、爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れたりする可能性があります。
- iii. 電池を極端に低い気圧の中や高地に置くと、爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れたりする可能性があります。



安全上の警告と注意事項

危険

- リチウムイオン電池は、破損や有効寿命（通常は14ヶ月）を超えて使用を続けると、発火、物的損害、重傷を引き起こす危険性があります。
- 異常な発熱、異臭、変色、変形/膨張などの異常な状態が検出された場合は、直ちにバッテリーの使用を中止し、充電も中止してください。
- リチウムイオン充電電池の取り扱い、保管、使用方法が不適切だと、液漏れ、発熱、発煙、発火、または電池性能の低下を引き起こす可能性があるため、使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- リチウムイオン電池には寿命があります。充電後に電池が機器に電力を供給できる時間が通常よりも短くなった場合、電池の寿命が尽きたことを意味します。デバイスの使用を中止し、交換オプションについてMTIにお問い合わせください。

注意

- 熱源や直火から遠ざけてください。特に液漏れや異臭が感知された場合は、すぐに対処してください。
- 電池を長期間使用しない場合は、電子機器の使用を中止し、湿度が低く室温が管理された場所に保管してください。長期間保管する場合は、電池を50%充電状態に保ってください。推奨される保守方法は、電池を受け取ってから3ヶ月ごとに電池の総容量の50%まで充電し、電圧を3.7~4.0Vに維持することです。
- 長期間の保管や不適切な方法での保管は、電池の性能が低下し、故障リスクが高まる原因となる可能性があります。

応急処置

- 電池が破裂した場合は、汚染エリアから人員を避難させ、煙やガスを排気するために最大限の換気を行ってください。電池から漏れた液体には触れないでください。
- 液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに患部を大量の水と石鹼で少なくとも15分間洗い流し、医師の診察を受けてください。医師の指示がない限り、軟膏を塗布しないでください。
- 電池から漏れた液体が目に入った場合は、目をこすらないでください。直ちに大量の水で（まぶたを開けたまま）少なくとも15分間洗い流し、医師の診察を受けてください。